

初めに、講義を熱心に聞いてくれた3年生に感謝します。

3年生のみなさんに対する講義は、2年時の「分析化学 II」が最後です。昨年度のことです。みなさんには遠隔講義は行っていません。今は懐かしいオール対面講義でしたね。この1年での変化があまりに急すぎて、昔の対面講義のことはだいぶ忘れてしまいました。ごめんなさい。みなさんの時の変更点(2019年度)と、みなさんの後輩への講義、つまり遠隔講義での変更点(2020年度)について、備忘録として記します。

2019年度の変更点

「分析化学 II」の受講生は例年150名ほどいます。それまでは1クラスで授業を行っていましたが、感想を聞いてみると受講生はずいぶん窮屈そうに（今でいえば密な状態で）受講していたようでした。そこで、2019年度の対面講義では初めて2クラス制を導入しました。ちなみに、ちょっとだけ遊び心も取り入れて、片方のクラスでは通常の内容、もう片方のクラスではちょっと深い内容を話すかも！？と宣言し、好きな方を選んでもらいました。実際のところは、私の講義スキルが足りずに内容を深化させることはほとんどできませんでした。しかし私自身は、いわゆる普通のクラスと、少しモチベーション高く聞いてくれるクラスとの雰囲気の違いを肌で感じることができました。

また、私の試験ではいつもヘンテコな問題を出します。みなさんには、100年前にタイムスリップして、後にクロマトグラフィーの研究でノーベル賞を受賞する少年にその研究内容をわかりやすく教えてあげる、という設定の問題を出しました。みなさん面白く説明してくれていましたが、中にはヘンテコな解答もありました。100年前には存在していないはずのモノを使って説明しているとか……。

2020年度の変更点

それまでの対面講義に対し、ほぼすべてが変更になりました。まずはこの年限定で前期開講になりました。「前期には行えない学生実験を後期に実施する可能性があるため、前期に開講できそうな後期開講科目を前期にしては？」という依頼を受けたものでした。

講義は事前動画を見てもらうオンデマンド方式としました。また、正規の時間割の時間では、オンライン（双方向）でちょっとしたデモ実験を見せたり、質問を受け付けたりしました。

新型コロナウイルスの影響で授業開始は5月中旬からでしたが、当時は、資料作成⇒録音⇒動画アップ⇒デモ実験・質問対応⇒小テスト確認⇒……の繰り返しでした。暗中模索とはこのことか、自転車操業とはこのことか、とずっと思いながら過ごしていました。きっと多くの先生方もそのような思いで過ごされていたと思います。

そんな中でも雑談用の資料も作成し、少しでも飽きずに見てもらえる動画づくりを心がけました。動画を見たみなさんが、学問に主体的に取り組む素養を身につけてくれていれましょう。うれしい限りです。

以上となりますが、今後まだまだオール対面講義というわけにはいかなそうです。まあ、嘆いていても仕方ないですね。困難を乗り越えようと努力することで、新しい何かが入るのかもしれない。みなさんもぜひ、自分自身で考えながらこの難局を乗り越えていって下さい。